



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 21LADY株式会社 上場取引所名
コード番号 3346 URL http://www.21lady.com/
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 道子
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)北川 善裕 (TEL)03(3556)2121
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,513	7.3	7	—	10	—	4	—
24年3月期第2四半期	1,410	△11.0	△69	—	△70	—	△75	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △85百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	118 33	—
24年3月期第2四半期	△1,910 74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,013	76	7.3
24年3月期	990	79	7.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 74百万円 24年3月期 71百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年3月期	—	0 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	17.6	35	—	29	—	15	—	383 39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 1 社(社名)雷門TP株式会社

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	43,947株	24年3月期	43,947株
25年3月期2Q	4,985株	24年3月期	4,985株
25年3月期2Q	38,962株	24年3月期2Q	39,262株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機に伴う世界的な金融不安に加え、継続する円高や株価低迷などにより、国内景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは、ヒロタ、イルムス両事業におきまして、引き続き選択と集中による既存直営店強化を中心に、新商品の投入を含めた商品構成の見直し、人財教育による販売力強化及び経営改善計画の達成を目指し取り組んでまいりました。

セグメント別には、次のとおりであります。

ヒロタ事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、今期の重点施策として東西共にシューアイスの催事場所を大幅に増やし、売上規模を倍増することを目標に掲げ、取り組みました。

また、岩手県陸前高田市のヤマニ醤油様とのコラボレーションにより、「しょうゆ天使のシューアイス」等を東北応援キャンペーンとして繰り広げ、直営店舗と現地での販売を行ないました。この結果、直営店舗における7月・8月の売上は拡大し、前年同四半期比101.4%となりました。

ホールセール部門におきましては、主に関西圏を中心としたチェーンストアとの取引再開及び拡大を実現いたしました。この結果、ホールセール部門の売上は、前年同四半期比147.4%と大幅に伸長いたしました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は、38店舗となりました。

この結果、売上高は1,009,893千円（前年同四半期比12.1%増）、営業利益53,406千円（前年同四半期は1,426千円の営業利益）となりました。

イルムス事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、直営店舗の売上高強化、及び利益構造の改善、接客サービスの改善に努めてまいりました。店舗の売上高は7月のセール不振が影響し前年同四半期比3.3%減となりましたが、原価率の低減努力から店舗の粗利益高は前年同四半期比1.0%増となりました。更に継続して人件費を中心に費用の抑制を図りました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は8店舗となりました。

この結果、売上高は503,734千円（前年同四半期比1.0%減）、営業損失は18,049千円（前年同四半期は32,968千円の営業損失）となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,513,627千円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益7,776千円（前年同四半期69,452千円の営業損失）、経常利益10,362千円（前年同四半期70,956千円の経常損失）、四半期純利益は、4,610千円（前年同四半期75,019千円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23,276千円増加し、1,013,403千円となりました。これは、流動資産が39,677千円増加、固定資産が16,401千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ26,415千円増加し、937,265千円となりました。これは主に、流動負債において未払金が23,382千円増加、固定負債において長期未払金が6,361千円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,139千円減少し、76,138千円となりました。これは主に、株主資本において少数株主持分が5,814千円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ57,205千円増加し、177,125千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、36,105千円の収入（前年同四半期は3,589千円の支出）となりました。主な内訳は、減価償却費31,184千円、仕入債務の増加額22,201千円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、43,862千円の収入（前年同四半期は83,032千円の支出）となりました。主な内訳は、定期預金の払戻による収入50,000千円でありませぬ。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、22,762千円の支出（前年同四半期は43,220千円の支出）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出8,181千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出6,649千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月11日発表の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年9月30日付で当社を存続会社とし、雷門TP株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったため、同社については連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、ヒロタ、イルムス両事業において経営改善計画を推進した結果、当第2四半期連結累計期間において、営業利益7,776千円を計上し、また、営業活動によるキャッシュ・フローも36,105千円の収入となっております。前年同四半期連結累計期間と比較して営業利益で77,229千円、営業活動によるキャッシュ・フローで39,695千円改善しております。

当社グループは、更なる改善を図るために以下の施策について全力を挙げて取り組んでおります。

ヒロタ事業におきましては、直営店舗・ホールセール部門共、下期売上利益予算を強化しております。直営店舗におきましては、プレミアムシュークリームの販売強化を実行し、またクリスマスや各種イベントの大幅な売上拡大を目指します。ホールセール部門におきましては、各チェーンストアとの取引先の増加及び拡大による通期予算達成を目指します。

イルムス事業におきましては、下期に新規出店した阪急梅田店の新業態など、直営店舗出店の効果を活かした売上利益拡大やクリスマス商戦・イベント売上の大幅な増加による通期予算達成を目指します。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	169,920	177,125
売掛金	209,472	237,051
商品及び製品	118,402	120,095
仕掛品	1,347	1,571
原材料及び貯蔵品	24,462	25,252
その他	15,826	18,752
貸倒引当金	△2,600	△3,340
流動資産合計	536,832	576,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	185,699	177,748
土地	79,937	79,937
その他	83,657	78,907
有形固定資産合計	349,294	336,592
無形固定資産		
のれん	2,756	2,450
その他	6,241	10,807
無形固定資産合計	8,998	13,257
投資その他の資産		
投資有価証券	12,878	10,943
その他	86,473	80,232
貸倒引当金	△4,350	△4,133
投資その他の資産合計	95,001	87,042
固定資産合計	453,294	436,893
資産合計	990,127	1,013,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,744	193,945
短期借入金	44,411	40,901
1年内返済予定の長期借入金	52,976	49,961
未払法人税等	13,989	11,272
未払金	278,916	302,299
資産除去債務	600	—
その他	168,195	173,267
流動負債合計	730,833	771,646
固定負債		
長期借入金	24,335	19,169
長期未払金	111,669	105,307
資産除去債務	25,771	25,339
その他	18,240	15,802
固定負債合計	180,016	165,619
負債合計	910,850	937,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	493,387	493,387
利益剰余金	△415,206	△410,596
自己株式	△103,923	△103,923
株主資本合計	74,257	78,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,601	△4,536
その他の包括利益累計額合計	△2,601	△4,536
少数株主持分	7,621	1,806
純資産合計	79,277	76,138
負債純資産合計	990,127	1,013,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,410,055	1,513,627
売上原価	687,636	696,234
売上総利益	722,419	817,393
販売費及び一般管理費	791,871	809,616
営業利益又は営業損失(△)	△69,452	7,776
営業外収益		
受取利息	9	17
受取配当金	595	70
負ののれん償却額	781	—
違約金収入	—	4,500
貸倒引当金戻入額	890	300
その他	296	487
営業外収益合計	2,572	5,375
営業外費用		
支払利息	4,024	2,784
その他	51	5
営業外費用合計	4,075	2,789
経常利益又は経常損失(△)	△70,956	10,362
特別利益		
固定資産売却益	257	—
特別利益合計	257	—
特別損失		
災害による損失	769	—
固定資産除却損	491	360
その他	189	—
特別損失合計	1,451	360
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△72,149	10,001
法人税、住民税及び事業税	6,644	6,709
法人税等調整額	2,639	△303
法人税等合計	9,283	6,405
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△81,433	3,595
少数株主損失(△)	△6,414	△1,015
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△75,019	4,610

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△81,433	3,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,233	△1,935
その他の包括利益合計	△4,233	△1,935
四半期包括利益	△85,667	1,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,253	2,675
少数株主に係る四半期包括利益	△6,414	△1,015

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△72,149	10,001
減価償却費	51,362	31,184
のれん償却額	—	306
差入保証金償却額	7,249	2,313
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△890	523
受取利息及び受取配当金	△604	△87
支払利息	4,024	2,784
固定資産売却損益(△は益)	△257	—
固定資産除却損	491	360
投資有価証券売却損益(△は益)	189	—
災害損失	769	—
負ののれん償却額	△781	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,850	△27,578
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,853	△2,707
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,594	22,201
未払金の増減額(△は減少)	18,692	12,652
未払費用の増減額(△は減少)	1,698	3,304
長期未払金の増減額(△は減少)	△4,769	△9,351
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,931	2,180
その他	1,433	△815
小計	9,793	47,273
利息及び配当金の受取額	604	188
利息の支払額	△4,007	△2,676
法人税等の支払額	△9,979	△8,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,589	36,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	—
定期預金の払戻による収入	—	50,000
有形固定資産の取得による支出	△21,676	△8,391
無形固定資産の取得による支出	—	△979
有形固定資産の売却による収入	285	—
投資有価証券の売却による収入	560	—
投資有価証券の取得による支出	△500	—
子会社株式の取得による支出	△10,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,079	△641
敷金及び保証金の回収による収入	377	3,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,032	43,862

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△3,679	△3,510
長期借入金の返済による支出	△24,188	△8,181
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△13,751	△6,649
子会社の自己株式の取得による支出	—	△2,320
割賦債務の返済による支出	△1,602	△2,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,220	△22,762
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△129,843	57,205
現金及び現金同等物の期首残高	293,396	119,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	163,553	177,125

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	ヒロタ 事業	イルムス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	900,998	508,811	1,409,810	245	1,410,055	—	1,410,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	900,998	508,811	1,409,810	245	1,410,055	—	1,410,055
セグメント利益又は損失 (△)	1,426	△32,968	△31,542	245	△31,297	△38,155	△69,452

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△38,155千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変更)

「イルムス事業」において、当社の子会社である株式会社イルムスジャパンの株式を平成23年8月10日付けで追加取得しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第2四半期連結会計期間において3,063千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	ヒロタ 事業	イルムス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,009,893	503,734	1,513,627	—	1,513,627	—	1,513,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,009,893	503,734	1,513,627	—	1,513,627	—	1,513,627
セグメント利益又は損失 (△)	53,406	△18,049	35,357	—	35,357	△27,580	7,776

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△27,580千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
該当事項はありません。